

◆ 2022 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：認定 NPO 法人 川口市民環境会議

25A-13

代表者：代表理事 浅羽 理恵

URL : www.ne.jp/asahi/eco/ecolife

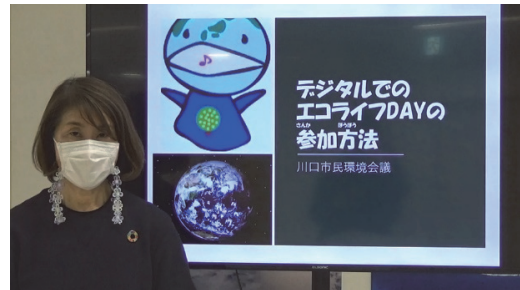
1. 活動が必要とされた状況

- ① 2021 年の試行を受け、エコライフ DAY デジタル化を市内全学校で実施し、その結果を環境教育の教材として、迅速に学校に提供する必要があります。
- ② 市内の小中学生が三密を避けつつ、環境活動を発表し環境について学びを深められるように「子ども環境フォーラム 2022」をオンラインで開催する必要があります。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

① エコライフ DAY のデジタル化の推進

6 月のエコライフ DAY に向け、デジタル版チェックシートの 200 種類のプログラムを作成し、QR コードと URL を教育委員会の電子システムを使って配布するとともに、参加方法の周知を周知ポスターの校内掲示や YouTube 動画で行いました。83,220 人の市民がエコライフ DAY に参加しました。その結果の身近な環境配慮行動の状況を「教材 DVD」として学校に配布しました。



参加方法の YouTube 動画

② 子ども環境フォーラム 2022 の開催

〈実施期間〉2022 年 11 月 19 日（土）

〈発信場所〉川口市地球温暖化防止活動推進センター・リサイクルプラザよりオンライン配信

〈参加人員〉73 名

〈活動内容〉第一部の環境活動発表では、安行小環境委員会など 4 団体からの発表を事前録画と LIVE で配信しました。第二部の環境講座では、20 年以上も野生のシロクマの写真を撮り続けている自然写真家、丹葉暁弥さんから、「地球温暖化と白くま」の講演を配信しました。多くの子どもたちから笑顔のスタンプが多数寄せられ、心に届いていることが伝わってきました。



環境講座の様子

3. 活動の成果

- ① 初めてデジタル化で市民に戸惑いもあった中、前年の 4 分の 3 の方々参加を得て、市民に受け入れられました。集計が容易となり、きめ細かな情報が早く提供できました。
- ② 子ども環境フォーラム 2022 では、市内 29 校の 73 名の児童生徒の参加を得て、参加者アンケートで 93%の方から内容が「良かった」との評価を得ることができました。

4. 今後に残された課題

- ① エコライフ DAY の参加方法の周知に努めるとともに、デジタル化で得られた身近な人々の環境配慮行動の情報を伝えて、児童生徒の参加を促すことが課題です。
- ② 子ども環境フォーラムは、これまで 3 回、オンライン方式で成功裏に開催しましたが、コロナ禍前のように小学校の施設を借りての対面方式での実施が課題です。